

【今月のトピックス】

保険事故発生

平成22年10月末に印刷会社のお客様にて、立て続けに2件、グラビア印刷機で保険事故が発生しました。1件は、印刷作業中に印刷フィルムの静電気からインキに引火したものと(推定)で、すぐに消火したものの、ロール機器等が熱損、消火粉末による汚損などで使用不能になりました。

もう1件は、早朝、主電源を入れたところ、工場内に煙が立ち上り、制御盤内でスパークし配線等に引火したことが判明。直ちに粉末消火器にて鎮火したものの、各種基盤や部品が使用不能になりました。

2件目の事故は、機械自体に起因する電氣的事故であり、「動産総合保険」では、通常、外部要因がないため、支払対象になりませんが、今回は、2件とも保険会社には、「火災」が認定されて、修理代金相当額が支払われることになりました。

いずれの場合も、リース期間終盤で起きた事故で、お客様から「リースにしている良かった」との声をいただきました。

包装リースだより③

株式会社日本包装リースは、日本包装機械工業会の会員が出資して設立した包装機械・関連機械の専門リース会社です

【リース最前線】

中小企業投資促進税制

22年度の税制改正で適用期限が2年延長され、24年3月までに取得した資産が対象になっています。

リースを利用した場合の税額控除は、リース料総額の7%が控除限度額となりますので、購入した場合の物件価格の7%と比べ、リースが有利になっています。(資本金が300万円以下の場合)

【リースQ&A】

③ 動産総合保険はどんな事故が補償されますか？

動産総合保険は、原則として全ての偶然な外部要因による事故によって生じた損害「火災」「落雷」「破裂」「風災」「水災」「盗難」「破損」「いたずら」等に対し補償されます。特に洪水、高潮、台風などの水害は、一般的な動産総合保険ではカバーされませんが、当社では特別に付保しています。

ただし、「故意・重過
失」「自然の消耗」「戦争」
「地震」などによる損害
は補償されません。
(次号に続く)